

第三回 仙台ラウンドテーブル Round-Table

「みんなのシティホール市役所を模索する」

— 市民と専門家による仙台市役所本庁舎建替えシンポジウム —



「仙台市役所本庁舎」は「仙台市」という行政の姿を象徴的に示す建物であり、その建替えは建築行為だけではなく、今後百年の、市政や市民協働・市民参加の在り方、仙台市中心部のまちづくりに大きな影響を及ぼします。この重要なプロジェクトに際し、仙台市と地域の専門家が協働して、みんなで考える場を設けました。

「仙台ラウンドテーブル」は、様々な立場からのまなざしや意見を整理し、あらゆる観点から見て納得できる合理性を組み立てることを目標としています。「仙台ラウンドテーブル」では、次の三つのことを大切にします。

- ①誰にでも広く開かれた場であること。
- ②様々な意見を受け入れ取り入れること。
- ③地域の専門家が中心となって責任ある議論をすること。

「仙台ラウンドテーブル」は、何かを決定する場でもなく、見つけた論理を誰かに押し付けるものでもありません。しかし「広く開かれ整理された論理」には、誰もが納得せざるを得ない強さがあります。ぜひ皆様の貴重なご意見をこのテーブルにお寄せください。

場所：せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア

日時：2019 年 1 月 27 日（日） 13 時～ 18 時 45 分

入場無料・登録不要 / どなたでも参加できます。

共通テーマ：市民のための本庁舎建替えプロジェクトをみんなで模索する。

テーブルテーマ：

A テーブル 様々な市民の視点から、大きな都市ビジョンを考える。

〈A1〉それぞれが思う都市ビジョンを共有し、大きな都市ビジョンを考える。

〈A2〉みんなで共有した都市ビジョンをどう位置づけるかを、官民連携で考える。

B テーブル 「これからの仙台を担う仕組み」を公共・市民協働の側面から考える。

〈B1〉市民協働・新しい公共の在り方から「市役所」を考える。

〈B2〉「市民と議会と行政」の関係から「公共を担う仕組み」を考える。

C テーブル 「基本計画検討委員会資料」をレビューし、様々な市民目線を網羅する。

〈C1〉既存本庁舎の価値を議論し、建替え手順やスカイラインの構成を考える。

〈C2〉低層部を中心にレビューし、低層部の必要機能を考える。

※討議の内容やテーマ、テーブル数は予告なく変更することがあります。

挨拶・主旨説明	13:00～13:10	(10分)
第一回からの報告	13:10～13:15	(5分)
前半テーブル討議	13:15～15:35	(140分)
前半討議 まとめ	15:35～15:50	(15分)
休憩	15:50～16:05	(15分)
後半テーブル討議	16:05～18:25	(140分)
後半討議 まとめ	18:25～18:40	(15分)
挨拶	18:40～18:45	(5分)

主催：

仙台市

問合せ： 財政局理財部本庁舎建替準備室 T: 022-214-3170

(一社) 宮城県建築士会

問合せ： T: 022-298-8037

(一社) 宮城県建築士事務所協会

問合せ： T: 022-223-7330

(公社) 日本建築家協会東北支部宮城地域会

問合せ： T: 022-225-1120